



校訓
「和」
 和を 貴しと 為す
なを やつて いくにも 人と 人の 和が なくては できるもの ではないと 和の 必要性を 説いた 有子のことばである。

第6号 令和2年8月31日 発行
 紀美野町立美里中学校
 〒640-1235
 和歌山県海草郡紀美野町野中 494-1
 TEL 073-495-2016
 FAX 073-495-3310



平和学習から

暴力的な暑さが、日本中を襲っています。先日、浜松市で41.1℃の日本歴代最高気温を記録しました。本稿を執筆している8月20日、WBGT（暑さ指数）が30を超え、部活動を取りやめました。コロナだけでなく、暑さとも戦わなければならない今年の夏です。

さて、美里中学校では毎年8月初めに平和学習をしています。今年も、映画「うしろの正面だあれ」を鑑賞し、平和について考えました。そこで、全校生徒に向かって話したことを書いてみたいと思います。

私の父は、終戦の年旧和歌山中学（現桐蔭高校）の生徒でした。1945年（昭和20年）7月9日の和歌山大空襲の翌日、和歌山市中心部から松江まで伝令を命じられて、自転車で焼け野原になった和歌山市内を走ったそうです。お城は焼け落ち、お堀には火に追われて飛び込んだ人の無数の死体があったそうです。

また、母も当時和歌山市に住んでいて、空襲から逃げる途中、焼夷弾の火の付いた油脂が周りに降ってきたそうです。火災から逃れて郊外から燃えさかる和歌山市内を眺めていると、巨大な炎による上昇気流で強い風が吹き、7月なのに寒いくらいであったと話していました。アメリカのB29爆撃機は和歌山城を目印にしていたようで、和歌山市街を焼き尽くした後、目印として不用になったお城に焼夷弾を落として焼き払ったのだとも語っていました。

あれから75年が過ぎ、今の日本は平和だといえるでしょう。しかし、時間は途切れることなく続いていて、あの時代と現在とは地続きです。また、戦争は突然始まるものではなくて、戦争への流れができてしまうと、止めようもなく下り坂を転げ落ちるように突入していき、気づいたら戦争だったということが、映画を見ていると分かりました。

「自国ファースト」という言葉があります。コロナがはやる前から言われている言葉です。世界的に経済が行き詰まっている現在、まず自分の国が、さらにいうなら、自分の国だけがよいといった考え方といえるのではないのでしょうか。私は国語科の教師なので、伝統的な日本の文化を知る機会も多いし、それらを生徒に伝えることもしょっちゅうあります。日本の文化は、知れば知るほど素晴らしく、それを生徒に知ってもらうことは、大切なことであつ、何より楽しいことです。

それと同様に、他の国々にはそれぞれ素晴らしい文化があり、それぞれの国の人々は自分の国の文化を大切にしています。互いにそれを認め合うのが人間というものではないのでしょうか。自国だけが優れていて、他国は劣っているという考えは、まさに日本が戦争に向かおうとしていた頃、国民に植え付けられた考え方なのです。現代になって、再びそんな考えがはびこってきているようにも感じます。

上で述べたように、「気がつけば戦争」とならないためにするのが、「勉強」であると考えます。先日の平和学習では、ネットの世界に飛び交う無数の情報に接して「本当にそうなのか」と立ち止まり、真偽を見抜く力。「こんなことを書き込んでいいのか」と、想像力や自制心を持って情報を発信する力。誰かが、または社会が間違ったことをしようとしているのを正すための説得力。このような力を育てるのが勉強であると話し、生徒たちも真剣に聞いてくれました。

校長 畠村 敏樹

平和学習:「うしろの正面だあれ」を鑑賞8/5



本校では、毎年この時期に命と平和の尊さに改めて目を向け、平和を守ろうとする気持ちを持ち続けるきっかけの一つとなれればと願い、平和学習を行っています。育友会人権部の活動として保護者の方にもご案内をさせていただき、1名の保護者の方が参加下さいました。ありがとうございました。

今年も、「うしろの正面だあれ」を鑑賞しました。海老名香葉子さんの原作で、海老名さんは戦後、初代林家三平と結婚し林家一門を支えるおかみさんとして現在も活躍しています。

【生徒の感想より】

- 平和な世の中というのは、当たり前だと思っていた。しかしこの映画を観て、平和な一日一日を大切に過ごしていこうと思った。今ある平和な日常が長く続くことを祈っている。
- かよ子たちは戦争の中でそれが当たり前のように過ごしていたけど、もし私がそうなら不幸を打ち消すための力をつけたいと思った。そのためにも校長先生は「勉強すること」とおっしゃっていて、勉強は知識だけでなく生きるためにも必要なことをあらためて実感した。
- 最後に、亡くなった家族がかよ子を励ます場面がありましたが、みんなの分まで生きようと決心したかよ子は強いと思います。もし自分がかよ子の立場だったら立ち直れなかったと思います。この映画は僕にあらためて家族の大切さを教えてくれたと思います。

第1学期終業式 8/7

8月7日は第1学期終業式を行いました。8日から16日までの9日間という短い夏休みとなりましたが、校長先生から夏休みを前にして大きく「1学期を振り返って」「夏休みの過ごし方」「ウィズコロナの世の中でどう暮らしていくか」の3つについての話がありました。

「皆さんは今まで経験したことのないような生活を送ってもらいました。でも指示をよく守って教室の換気をしたり、手洗いを念入りにしたりすることができました。同様に家庭の方々も学校の行事の中止や日程の変更をよく理解して協力していただいたことに感謝しています。」

「今後再びコロナのない世の中に戻るのには不可能かも知れませんが、そんな『ウィズコロナ』の世の中でどう暮らしていくかを考えるためにもしっかりと勉強してください」と話がありました。

最後に全員で写真を撮り無事に1学期を終了することができました。

その後、各クラスで行われた学活では通知表が担任から手渡されました。



第2学期始業式8/17



17日には第2学期始業式を行いました。校長先生から「落ち着いた学校生活を送ること」そのために「当たり前が当たり前でできる生活を送るように」と話がありました。また「ウィズコロナ」の話として「コロナとともにうまくやっていける、答えのない生活を送りましょう。社会に出れば答えのないことが多くなります。そのために答えのない勉強、学校での勉強に一生懸命取り組みましょう」と話をいただきました。

海草地方中学校総体代替大会8/1



8月1日(土)に東部テニスコートにて「海草地方中学校総合体育大会代替大会」が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために今年度の全国中学校大会・近畿中学校総体・和歌山県中学校総体が中止となりました。海草地方におきましては、大会開催の可否について、海南市教育委員会・紀美野町教育委員会・海草地方中学校長会・海草地方中体連の合同会議で協議してきた結果、今までがんばってきた3年生の部活動の区切りの場として新型コロナウイルス感染症及び熱中症に十分配慮した上で代替大会を実施することになりました。

休校明けもなかなか練習時間を確保することが難しかったですが、3年生はよくがんばりました。結果は以下の通りです。入賞された生徒のみみなさんおめでとうございます。

《男子の部》

第1位 上中 佑伊登・折口 虎太郎 ペア

第3位 大高 明伸・岩本 涼聖 ペア

《女子の部》

第3位 九十九 ばにら・折口 世菜 ペア



3年生ソーラン練習8/19

3年生は8月19日に海南市スポーツ振興グループの谷口菊子さんと尾日向忠登さんを講師にお招きし、南中ソーランの指導をしていただきました。南中ソーランの練習では、谷口さんから堂々とした動きになるようひざや指先の向きまで丁寧に教えていただきました。

3年生はやる気いっぱい取り組んだので習得も早かったです。本番当日が楽しみです。

今年は3年生の生徒ですが、9月12日の体育祭で南中ソーランを披露する予定です。谷口先生のご厚意で、3年生用の「ソーラン長半纏」を貸していただいたので早速着用して練習しました。



9月の行事予定

- 1日(火) 修学旅行説明会 16:00～
スクールカウンセラー来校
- 2日(水) 心電図検査(1年生)
- 3日(木) 眼科検診(14:00～)
- 7日(月) 体育祭練習のため部活動練習停止
- 8日(火) 体育祭予行(1・2限)
スクールカウンセラー来校
- 11日(金) 体育祭前日準備 交通街頭指導
- 12日(土) 体育祭・半日開催(雨天順延)
《弁当持参》
- 14日(月) 振替休業日
- 15日(火) 《弁当持参》
- 21日(月) 敬老の日
- 22日(火) 秋分の日
- 23日(水) 衣替え猶予期間スタート
- 28日(月)～30(水)
3年生修学旅行(広島方面)
- 30日(水) 1・2年生校外学習(ふれあい公園)
《弁当持参》
- 10月1日(木) 3年生休業
- 秋の全国交通安全運動 9/21(月)～30(水)

「避難訓練」を実施しました8/18

8月18日2限目に避難訓練を実施しました。理科室での出火を想定し紀美野町消防署員の2名にも来ていただきました。避難指示が出てからグラウンドに全員集合完了するまでの時間は3分58秒でした。生徒のみなさんは慌てず迅速に避難することができました。秋には地震を想定した訓練を実施する予定です。

